様式第１号

令和元年７月 24 日

沖縄県知事　殿

〔設置者の名称〕　　沖縄県

〔代表者の役職及び氏名〕　　知事　玉城　康裕

大学等における修学の支援に関する法律第７条第１項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	沖縄県立看護大学
大学等の種類 （いずれかに○を付すこと）	（大学・短期大学・高等専門学校・専門学校）
大学等の所在地	沖縄県那覇市与儀１丁目 24 番１号
学長又は校長の氏名	学長　嘉手苅　英子
設置者の名称	沖縄県
設置者の主たる事務所の所在地	沖縄県那覇市泉崎１－２－２
設置者の代表者の氏名	沖縄県知事　玉城　康裕
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/

大学等における修学の支援に関する法律（以下「大学等修学支援法」という。）第７条第１項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点（☑）を付けて下さい。

☑　この申請書（添付書類を含む。）の記載内容は、事実に相違ありません。

☑　確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☑　大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☑　この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☑　申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第７条第２項第３号及び第４号に該当します。

様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難
			教養科目	専門関連科目	合計		
看護学部	看護学科		0 単位	103 単位	103 単位	13 単位	

（備考）
実務経験のある教員等による授業科目の単位数（103 単位）には、選択科目（20 単位）及び選択必修科目（8 単位）が含まれる。
必修科目のみによる実務経験のある教員等による授業科目の単位数は 75 単位。

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

下記ＵＲＬアドレスで公表。
https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/gakubu_syllabus/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目分類	授業科目名	開講年次	時期	単位数	選択	シラバスページ
1	専門教養科目	保健医療福祉制度 (Health Care and Welfare System)	3年次	前期	2		54
2	専門教養科目	身体活動論 (Physical Activity Studies)	1年次	前期	1		57
3	専門教養科目	身体活動論演習 (Physical Activity Seminar)	3年次	前期	1		58
4	専門教養科目	生涯人間発達論 (Life-span Development)	1年次	後期	2		82
5	広域・基盤看護科目	看護学原論 (Principle and Practice of Nursing)	1年次	前期	2		85
6	広域・基盤看護科目	看護専門職論Ⅰ (Professional NursingⅠ)	1年次	前期	1		86
7	広域・基盤看護科目	ヘルスアセスメント (Health assessment)	2年次	前期	2		87
8	広域・基盤看護科目	生活援助・療養援助技術Ⅰ (Fundamental Nursing Skills Ⅰ)	1年次	後期	2		89
9	広域・基盤看護科目	生活援助・療養援助技術Ⅱ (Fundamental Nursing SkillsⅡ)	2年次	前期	1		92
10	広域・基盤看護科目	生活援助・療養援助技術Ⅲ (Fundamental Nursing SkillsⅢ)	3年次	前期	1		94
11	広域・基盤看護科目	生活援助・療養援助技術実習 (Fundamental Nursing Skills Practicum)	2年次	後期	2		96
12	広域・基盤看護科目	クリティカル・緩和ケア論 (Critical/Palliative care)	3年次	前期	2		98
13	広域・基盤看護科目	クリティカル・緩和ケア演習 (Critical/Palliative care Seminar)	4年次	前期	1		100
14	広域・基盤看護科目	クリティカル・緩和ケア実習 (Critical/Palliative care Practicum)	4年次	前期	2		102
15	広域・基盤看護科目	早期体験実習 (Early Exposure to Clinical Practice)	1年次	前期	1		104
16	広域・基盤看護科目	精神保健看護Ⅰ (Mental Health and Psychiatric NursingⅠ)	2年次	前期	1		105
17	広域・基盤看護科目	精神保健看護Ⅱ (Mental Health and Psychiatric NursingⅡ)	3年次	前期	2		106
18	広域・基盤看護科目	精神保健看護演習 (Mental Health and Psychiatric Nursing Seminar)	3年次	後期	1		108
19	広域・基盤看護科目	精神保健看護実習Ⅰ (Mental Health and Psychiatric Nursing PracticumⅠ)	2年次	後期	1		109
20	広域・基盤看護科目	精神保健看護実習Ⅱ (Mental Health and Psychiatric Nursing PracticumⅡ)	3年次	後期	2		111
21	広域・基盤看護科目	地域保健看護Ⅰ (Community Health Nursing Ⅰ)	2年次	前期	1		113
22	広域・基盤看護科目	地域保健看護Ⅱ (Community Health NursingⅡ)	3年次	前期	2		114
23	広域・基盤看護科目	地域保健看護Ⅲ (Community Health Nursing Ⅲ)	3年次	前期	2		116
24	広域・基盤看護科目	地域保健看護演習 (Community Health and Nursing Seminar)	4年次	前期	1		118
25	広域・基盤看護科目	地域保健看護実習Ⅰ (Community Health Nursing PracticumⅠ)	2年次	前期	1		120
26	広域・基盤看護科目	地域保健看護実習Ⅱ (Community Health Nursing PracticumⅡ)	4年次	後期	3		122
27	広域・基盤看護科目	在宅保健看護実習 (Home Health Nursing Practicum)	4年次	後期	1		124
28	生涯発達看護科目	周産期保健看護Ⅰ (Perinatal Health Nursing Ⅰ)	2年次	前期	1		127

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目分類	授業科目名	開講年次	時期	単位数	選択	シラバスページ
29	生涯発達看護科目	周産期保健看護Ⅱ （Perinatal Health NursingⅡ）	3年次	前期	2		129
30	生涯発達看護科目	周産期保健看護演習 （Perinatal Health Nursing Seminar）	3年次	後期	1		131
31	生涯発達看護科目	周産期保健看護実習Ⅰ （Perinatal Health Care PracticumⅠ）	2年次	後期	1		133
32	生涯発達看護科目	周産期保健看護実習Ⅱ (Perinatal Health Nursing PracticumⅡ)	3年次	後期	2		135
33	生涯発達看護科目	小児保健看護Ⅰ （Child Health NursingⅠ）	2年次	前期	1		137
34	生涯発達看護科目	小児保健看護Ⅱ （Child Health Nursing Ⅱ）	3年次	前期	2		139
35	生涯発達看護科目	小児保健看護演習 （Child Health Nursing Seminar）	3年次	後期	1		141
36	生涯発達看護科目	小児保健看護実習Ⅰ （Child Health Nursing Practicum Ⅰ）	2年次	後期	1		143
37	生涯発達看護科目	小児保健看護実習Ⅱ （Child Health Nursing Practicum Ⅱ）	3年次	後期	2		145
38	生涯発達看護科目	成人保健看護Ⅰ （Adult Health NursingⅠ）	2年次	前期	1		147
39	生涯発達看護科目	成人保健看護Ⅱ （Adult Health NursingⅡ）	3年次	前期	2		148
40	生涯発達看護科目	成人保健看護演習 （Adult Health Nursing Seminar）	3年次	後期	1		150
41	生涯発達看護科目	成人保健看護実習Ⅰ （Adult Health Nursing PracticumⅠ）	2年次	後期	1		152
42	生涯発達看護科目	成人保健看護実習Ⅱ (Adult Health Nursing Practicum Ⅱ)	3年次	後期	2		154
43	生涯発達看護科目	老年保健看護Ⅰ （Geriatric NursingⅠ）	2年次	前期	1		156
44	生涯発達看護科目	老年保健看護Ⅱ (Geriatric NursingⅡ)	3年次	前期	2		158
45	生涯発達看護科目	老年保健看護演習 (Geriatric Nursing Seminar)	4年次	前期	1		160
46	生涯発達看護科目	老年保健看護実習Ⅰ (Geriatric Nursing PracticumⅠ)	2年次	前期	1		161
47	生涯発達看護科目	老年保健看護実習Ⅱ （Geriatric Nursing PracticumⅡ）	4年次	前期	2		163
48	生涯発達看護科目	助産実践論 (Theory of Midwifery)	4年次	前期	2	選択	165
49	生涯発達看護科目	基礎助産学 （Fundamentals of Midwifery）	4年次	前期	3	選択	166
50	生涯発達看護科目	助産診断・技術学 (Diagnosis and Practice of Midwifery)	4年次	前期	5	選択	168
51	生涯発達看護科目	ウィメンズ ヘルス サイエンス （Women's Health Science）	3年次	後期	2	選択	170
52	生涯発達看護科目	助産実習 （Midwifery Practicum）	4年次	前期	8	選択	172
53	統合科目	看護大学ゼミナールⅢ （OPCN Seminar Ⅲ）	3年次	後期	1		175
54	統合科目	島嶼保健看護 （Insularity Health and Nursing）	4年次	前期	2	選択必修	176
55	統合科目	国際保健看護 （International Health Nursing）	4年次	前期	2	選択必修	178
56	統合科目	卒業演習 （Evaluation Seminar）	4年次	後期	1		180

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目分類	授業科目名	開講年次	時期	単位数	選択	シラバスページ
57	統合科目	看護専門職論Ⅱ （Professional Nursing Ⅱ）	4年次	前期	2		181
58	統合科目	看護統合実習 (Integrated Nursing Practicum)	4年次	後期	2		183
59	統合科目	看護卒業論文 (Nursing Research and Evidence-Based Practices)	4年次	通年	2	選択必修	185
60	統合科目	看護総合演習 （Comprehensive Nursing Seminar）	4年次	通年	2	選択必修	187
		実務経験のある教員等による授業科目の単位数（合計）			103		

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	沖縄県立看護大学外部評価委員会
役割	当委員会は、本学が実施する自己点検・評価の結果について、検証及び評価を行い、本学の教育研究活動、地域貢献及び大学運営の活性化に資する提言を行う。

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
名古屋大学・愛知県立大学 名誉教授	２年	公立大学協会関係者
石川県立看護大学 学長	２年	県内外大学の教員 大学経営の専門家
学校法人沖縄大学 名誉教授	２年	県内外大学の教員 大学経営の専門家
学校法人尚学学園 副理事長	２年	その他学長が認める者
公益社団法人沖縄県看護協会　会長	２年	県内保健医療福祉関係者
沖縄療育園　医療技官	２年	県内保健医療福祉関係者
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

⑴ 授業計画書（シラバス）作成過程

成績評価を行う各授業科目の責任者（以下「科目責任者」という。）が、授業の到達目標を達成するために、以下の内容を定めて、授業計画書（シラバス）を作成する。

・授業の回数や内容
・使用するテキスト
・参考文献
・他の授業科目との関連
・成績評価方法
・学習相談・助言体制
・特記事項

各科目責任者が作成した授業計画書（シラバス）を教務委員会に諮り、審議した上で、全授業科目の授業計画書（シラバス）を決定する。

⑵ 授業計画書（シラバス）の公表時期・方法

大学の公式ホームページ上において、４月に公開

授業計画書の公表方法	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/gakubu_syllabus/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

⑴ 成績

授業科目の成績は、授業計画書（シラバス）に記載されている成績評価の方法により、判断して決定される。

⑵ 成績評価の基準

次のとおりＳ、Ａ、Ｂ、Ｃ及びＦの評語で表し、Ｓ、Ａ、Ｂ及びＣを合格として、所定の単位を与える。

評語	評価	判定
S	90 点～100 点	合格
A	80 点～89 点	
B	70 点～79 点	
C	60 点～69 点	
F	59 点以下	不合格

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

(1) 指標の算出方法

評語を以下とおり点数に換算し、各評定の単位数に各評定の点数を掛け、単位数（履修単位数）で除して求めている。

評語	S	A	B	C	F	既修得単位
点数	4	3	2	1	0	対象外 （ＧＰＡに算入しない。）

(2) 計算式

｛Ｓ（単位数）×４点+Ａ（単位数）×３点+Ｂ（単位数）×２点+Ｃ（単位数）×１点+Ｆ（単位数）×０点｝÷単位数（履修単位数）

※端数がある場合は、小数点第２位を四捨五入し、算出。

(3) 成績の分布状況

別添のとおり

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/pages2815/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。

1　生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を身につけている。
2　常識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。
3　看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。
4　保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担う事ができる。
5　自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を有している。
6　人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力とともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を有している。
7　研究的態度を身につけ、保健看護活動をとおして看護の発展に寄与する能力を有している。

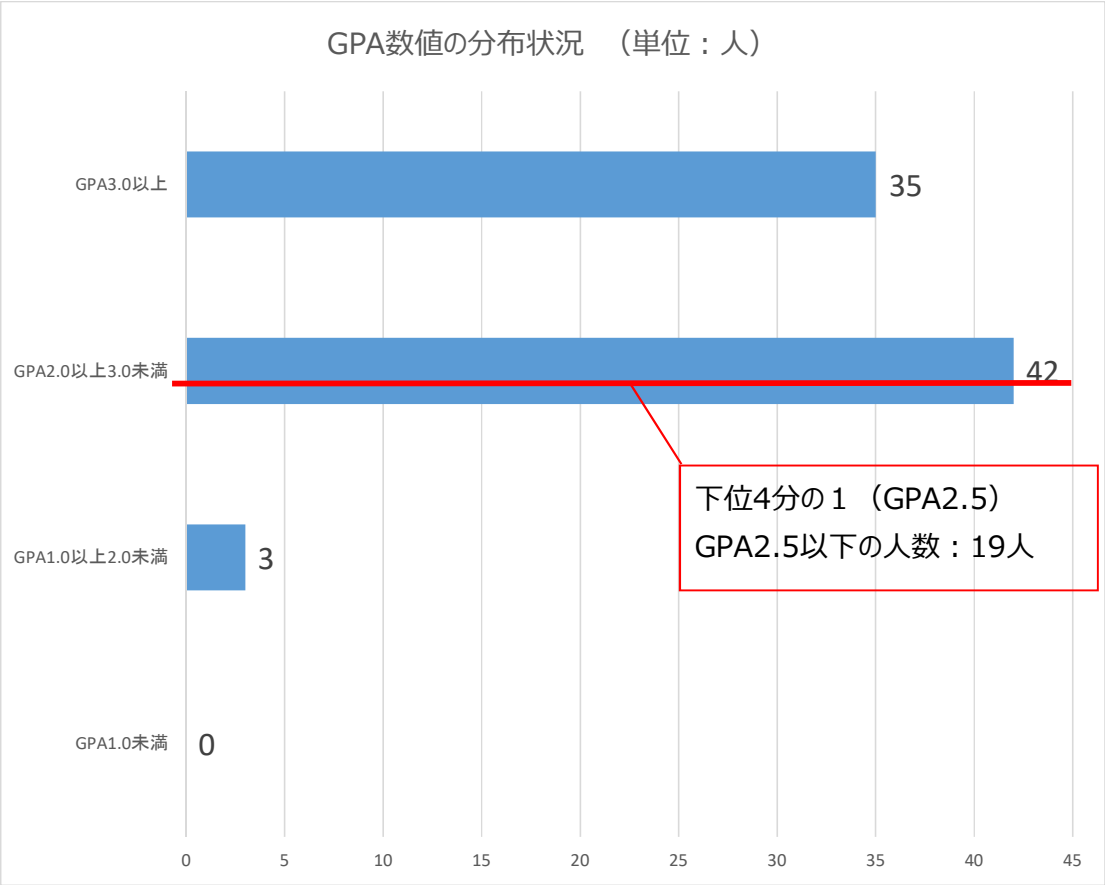
本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会において審議し、卒業を認定している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/

沖縄県立看護大学

GPA数値による成績分布状況

看護学部　看護学科　第１学年（学生数80人）



GPA算出方法

評語を以下とおり点数に換算し、各評定の単位数に各評定の点数を掛け、単位数（履修単位数）で除して求めている。

評語	S	A	B	C	F	既修得単位
点数	4	3	2	1	0	対象外（GPAに算入しない。）

計算式

｛S（単位数）×４点+A（単位数）×３点+B（単位数）×２点+C（単位数）×１点+F（単位数）×0点｝÷単位数（履修単位数）

※小数点第2位を四捨五入

計算例　※履修単位38単位（22科目）、既修得単位２単位（1科目）の学生

▼　S評価17単位（10科目）、A評価13単位（7科目）、B評価6単位（4科目）、C評価2単位（1科目）、既修得単位２単位（1科目）の場合

既修得単位は算入しないことから、GPAは以下の計算となる。

$$\frac{4点\times17単位 + 3点\times13単位 + 2点\times6単位 + 1点\times2単位}{38単位} = 3.184\cdots$$

$$\fallingdotseq 3.2$$

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/fuseiboushi/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　看護学部　看護学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/rinen/　）
（概要） ▼大学の目的 沖縄県立看護大学は、生命の尊厳を重んずる豊かな人間性を育成するとともに、看護に関する高度な専門的知識や技術を習得させる ことにより、保健医療福祉の分野において看護を科学的に実践し、人々の健康と福祉の向上に貢献することのできる人材を育成することを目的とする。 ▼大学の使命 本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請、また、グローバル時代のおける人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することであります。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的発展に寄与することです。 ▼教育理念・教育目標 本学の教育理念は、設置の趣旨に基づき、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会での幅広い視野を持ち、看護を化学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉への貢献を目指します。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/）
（概要） 本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。 １　生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を身につけている。 ２　常識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。 ３　看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。 ４　保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担う事ができる。 ５　自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を有している。 ６　人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力とともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を有している。 ７　研究的態度を身につけ、保健看護活動をとおして看護の発展に寄与する能力を有している。 本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会において審議し、卒業を認定している。

教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/）
（概要） 1　21 世紀の市民としてふさわしい知性と態度を磨くために、充実した教養科目を設定する。 2　多様な場や対象の健康レベルにあわせた看護実践力を身につけるため、専門教養科目から統合科目へと段階的に 配慮すると共に、教育効果を考慮し柔軟な配置も行なう。 3　科学的思考に基づく看護実践力を身につけるため、看護の専門職に必要な知識・技術・態度を，基礎から応用へと段階的に学習するよう科目を配置する。 4　看護の対象となる人間を成長・発達にそって身体的・精神的・社会的側面から理解するため，周産期から老年期へと段階的 に学習するような科目を配置する。 5　学習効果を高めるため、講義・演習及び実習など多様な学習形態の科目を組み合わせる。 6　本県が島嶼県であることや太平洋に開かれた地域であることを理解し、グローバルな視点とローカルな視点の両面から保健看護が実践できるよう科目を設定する。 7　学びを統合できる力と生涯学習能力を養うため統合科目を設定する。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/）
（概要） 1　人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲を持った方 2　幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身に付けた方 3　離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方 4　異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方 5　本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/old/c1/soshiki.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
看護学部　看護学科	－	10 人	11 人	8 人	4 人	6 人	39 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	75 人	人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/kyouin/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
看護学部 看護学科	80 人	80 人	100%	320 人	323 人	101%	0 人	0 人
合計	80 人	80 人	100%	320 人	323 人	101%	0 人	0 人

（備考）
在学生数（ｄ）／収容定員（ｃ）×100（%）≒100.9%

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
看護学部 看護学科	77 人 (100%)	3 人 (3.9%)	72 人 (93.5%)	2 人 (2.6%)
合計	77 人 (100%)	3 人 (3.9%)	72 人 (93.5%)	2 人 (2.6%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
琉球大学医学部附属病院、沖縄県病院事業局、沖縄赤十字病院、等

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業計画書（シラバス）において、年間の授業計画や各科目の授業方法及び内容を記載している。
シラバス掲載ＵＲＬ　https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/gakubu_syllabus/

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会において審議し、卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
看護学部	看護学科	130 単位以上	有・無	単位
	看護学科 ※助産師国家試験受験資格を得ようとする者	150 単位以上	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/campus/tour/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考 （任意記載事項）
看護学部	看護学科（県内居住者）	535,800 円	282,000 円	円	
	看護学科（その他の者）	535,800 円	512,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

1　修学相談
担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。

2　国家試験対策講座の開催（時期　６月、12 月、１月）

3　異学年との交流

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

1　進路情報の提供
図書館に進路情報コーナー「ラーニングコモンズ」を設置し、県内外の採用情報を掲示しています。

2　各学年担当教員による個別進路相談

3　３年次と４年次との情報交換会
国家試験終了後～卒業式までの間を予定しています。

4　県内保健・医療機関等による職員採用説明会
３月初旬、３年次向けに本学で実施予定です。

5　進路意向調査の実施（４年次対象）

6　就職セミナーの開催
4 年次を対象に、「小論文の書き方」「面接の受け方」等について、セミナーを開催しています。

7　就職・進学試験内容のファイリング（４年次対象）

8　卒業前交流会（４年次対象）
卒業生間、卒業生と同窓生間の情報交換を行い、就職に向けた準備を行います。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

健康相談の窓口として、保健室において健康増進、疾病予防を進めています。
また、外部のスクールカウンセラーを設置し、月２回カウンセリングを実施しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/kiyou/